



# よいた

長岡市  
CITY NAGAOKA NIIGATA

支所だより

編集／発行 与板支所地域振興課 (☎0258-72-3100・E-mail: yit-chiiki@city.nagaoka.lg.jp)

よいた支所だよりカラー版は長岡市ホームページでもご覧になれます <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/o-yoita/>



20人から18品目、35点が出品された農林産物品評会



山古志からやってきた闘牛。見て「大きい〜」、触って「温かい」との声



米粉を練って食紅で着色する「ちんころ」づくり



子どもたちが餅つきのお手伝い



長蛇の列ができた「きのこ汁」の振舞い

## 楽しかった 味わった 秋 の1日



### 第17回 与板いきいきフェスティバル

絶好の秋晴れ、祭り日和となった11月8日、与板体育館で「与板いきいきフェスティバル」が開催され、大勢の人で賑わいました。

農林産物品評会、農協や商工会による特売やビンゴ大会、もちつき、きのこ汁の振る舞いなどのイベントが行われ、会場を訪れた人は、目もお腹も満足されていたようでした。

#### 農林産物品評会の上位入賞者(敬称略)

区分	氏名	地区	品目
最優秀賞	真島敦子	馬越	さといも
優秀賞	小林善一郎	榎原	大豆
優秀賞	高橋正徳	本与板	ぎんなん
優秀賞	高橋志恵子	岩方	ごぼう
優良賞	田中正義	安永	甘柿
優良賞	丸山美恵子	本与板	長ねぎ
優良賞	高橋信栄	本与板	長いも
優良賞	丸山定男	本与板	白菜
優良賞	真島敦子	馬越	しいたけ

#### ちんころの上位入賞者(与板地域のみ、敬称略)

区分	氏名	地区	備考
1等	山田恵子	堤下	
3等	斎藤禎叶	城山1	
3等	長谷川拓実	安永	

## 地域委員会

与板地域委員会(第4回)の開催状況  
(10月22日開催)

○ 長岡市都市計画マスタープランについて「地域別構想(素案)」について都市計画課職員から説明を受け、地域委員は活発に意見を交わ

しました。また、地域別構想の中の与板地域の将来像(キャッチフレーズ)を「与板の歴史と伝統文化を活かした安全で快適なまち」に決定しました。

◇ 詳しい地域委員会の内容は、与板支所1階情報ラウンジに備え付けの委員会資料、会議録(概要版)または、ホームページ「地域委員会情報」でもご覧になれます。

## 与板のできごと

### 城山登山者が3万人 堤下町内会が記念セレモニー

今年3月からの与板城跡(通称「城山」)来訪者が、10月17日、3万人に達し、堤下町内会の皆さんが記念セレモニーを行いました。

3万人目の来訪者は山登りが共通の趣味という市内喜多町在住の今井勝雄・つや子さんご夫婦(写真右から3・4番目)。町内会手づくりの記念ボードを除幕した後、兼続・お船に扮した猪井雅也・由香さんから花束や愛の前立てかぶと、与板の特産品が贈られると、「地元の人からこんな歓迎を受けて驚いています。良い思い出になります」と喜んでいました。



左から2番目は小野塚副市長

猪井さん夫妻が扮する兼続・お船に、今井さんは「とてもお似合いです」とコメント。



セレモニーでは、約200個の風船を飛ばし、お神酒、きのこ汁のふるまいが行われました。

### 災害発生時の対応を確認 黒川・榎原地区で防災訓練

中越大震災から5年を迎えてまもない10月25日、黒川地区5町内会と榎原町内会で、直下型地震の発生を想定しての防災訓練が行われました。

地震の発生を告げる防災無線が入ると、住民は役員の誘導であらかじめ決められた避難所へ足早に向かいました。避難所の黒川分館、榎原農村センターで避難者数を確認後、参加者は簡易更衣室の組立や、炊き出し、救急救命、応急手当などの訓練を行いました。



左／後ろから抱えて片腕をつかんで一消防署員の指導で負傷者の救出方法を訓練(榎原)  
下／救急救命についての講習(黒川分館)



## 与板と調和するデザインを探る 第2回長岡市与板地区まちづくり協議会

昨年度に引き続き、自転車歩行者(優先)道路の「以南の句碑」と「都野神社」に近いところに、「足元灯」を設置するための陶板デザインワークショップを開催しました。作業は2箇所のグループに分かれ彫刻家や陶芸家の支援で、デザイン作業から型どり作業まで行いました。



作業のあと、現在のアーケードの腐食・欠損などの状況についての調査報告がコンサルから行われ、皆さんで意見交換を行いました。



左／彫刻家からデザインの考え方について指導を受ける  
左下／都野神社の柱の銹(かざり)金具から型どる様子  
右下／自然素材を用いて陶板に型どる様子



## 古きよき時代にタイムスリップ! なつかしの名優に会いたい上映会

10月11、12日、高島座で開催された「なつかしの名優に会いたい上映会」。同時開催の「いにしへの与板写真展」とともに、多くの方が訪れ、来場者の皆さんはひととき昔に返って懐かしの映画や写真を楽しみました。



## “美”と“芸”たっぷり味わう 生涯学習フェスティバル

21年度の生涯学習フェスティバル作品展と芸能発表会が体育館で開催されました。

作品展(10月31日～11月1日)には、地域住民が丹精込めて制作した絵画、書、写真や、与板小学校からの出品作品など多数の美術作品が展示され、訪れた人の目を楽しませていました。

芸能発表会(11月3日)では、和の雰囲気をかもし出す「和琴」を皮切りに民謡、舞踊、詩吟など、バラエティに富んだ出し物がステージ上で発表され、観衆から盛んな拍手が送られていました。



## 兼続の人物像がより鮮明に! 与板公民館講演会

10月25日、与板地域勤労青少年ホームで与板公民館講演会が開催されました。

青山学院大学名誉教授・文学博士の片桐一男先生を講師に招き、「堀内文書からみた直江兼続」についてご講演いただきました。



水書板を使った丁寧な解説は大変わかりやすく、訪れた100名の来場者からは、「兼続の人物像がより鮮明になった」と大好評でした。

## 剣道の普及に多大な功績 久保喜久治さんが大臣表彰

「生涯スポーツ功労者」として久保喜久治さん(南新町)が、文部科学大臣から表彰されました。久保さんは、長尾年にわたり「新潟県剣道夏季合宿講習会」を開催するなど、本県の剣道の普及・発展に大きく貢献されています。



# お知らせします

無料で

与板支所 ☎72-3100(代表)

## 住民基本台帳カードが作れます！



平成 23 年 3 月 31 日まで、住民基本台帳カード（住基カード）が無料で作れます。（従来は発行手数料が 500 円かかりました。）

写真付き住基カードは、公的な身分証明として本人確認にも利用できます。カードの有効期間は 10 年です。

この機会にぜひ作ってみませんか。

お申し込み・詳細については下記までお問い合わせください。

【問】市民生活課市民係（内線 133）

## 要援護世帯に雪下ろし費用を助成

下記のとおり雪下ろし費用を助成します。  
内容＝屋根の除雪及びこれに伴う避難路の除雪に対して、一冬 3 回を限度とし、1 回につき 12,600 円を上限に助成。落雪屋根については、住居保全のための住居敷地内の除雪費として、冬期間をとおし、20,000 円を上限に助成  
対象＝高齢者・母子・障害者世帯などで除雪をする労力がなく、市民税が非課税の世帯（同居・別居にかかわらず、親族の援助が受けられる場合は除く）

申込＝地区の民生委員・児童委員を通じて 12 月 21 日までに申請してください。（昨年申請された方は、担当の民生委員・児童委員が申請の確認に伺います）

【問】市民生活課福祉係（内線 121）

## 戸別受信機の設置はお済ですか

与板支所では、支所からのお知らせを随時、無線でお伝えする戸別受信機（原則 1 世帯 1 台）を無料で設置しています。



与板地域外から転入されてきた世帯でまだ設置されていない世帯は、支所窓口で申請してください。

また、すでに設置された受信機が破損したり、故障したりしたときはご連絡ください。

【問】地域振興課地域振興・防災係（内線 212）



## 募集



## 平成 22 年度 児童クラブ会員

平成 22 年度の児童クラブの会員を募集します。（平成 21 年度に入会していた児童も再度申請が必要です。）

対象＝平成 22 年度小学 1 年生～3 年生で放課後、家に保護者（祖父母等を含む）のいない児童  
定員＝60 名（定員超の場合は低学年優先）  
申込＝22 年 2 月 12 日まで

【問】地域振興課教育支援係（内線 302）

## ご家庭に眠っている「おひなさま」の情報を お寄せください。



来年 2 月 20 日（土）～3 月 7 日（日）に「越後長岡ひなものがたり」を開催します。市内各所へ展示するため、お貸しいただける人形の情報をお寄せください。

【問】越後長岡ひなものがたり実行委員会（社）長岡観光コンベンション協会 ☎32-1187

し尿の汲み取りはお早めに

12 月はし尿の汲取の申込が集中し、収集が遅れがちになります。し尿の汲み取りはお早めにヨイタ清掃 ☎72-2672 へ

3

R

リデュース・リユース・リサイクル を実践しよう

→ みや資源物を減らすには、ごみになる物を買わない、持ち込まないことが大切です。例えば、  
 ↳ ペットボトルや食品トレー・・・「リサイクルできるものだから」と安易に求めていませんか。リサイクルするにも収集、仕分けの費用や電気などのエネルギーが必要です。ごみ問題を解決するには、私たち一人ひとりが「もったいない」という気持ちを大切に、生活様式を見直しましょう。  
 少しの工夫で「リサイクル」から一歩進んだエコな生活を実践してみませんか。

一人ひとりができること・・・ 3R

**R** educe(リデュース:発生抑制)

ごみを減らしましょう！

買い物袋を持参し、余分な  
 買い物をしない。  
 できるだけ包装  
 の少ないものを選  
 びましょう。



**R** euse (リユース:再利用)

捨てる前に考えよう！

不用になったものは、リサイ  
 クルショップやフリー  
 マーケットなどを利用  
 したり、欲しい人に譲  
 りましょう。



**R** ecycle(リサイクル:再生利用)

資源として生まれ変わるた  
 めに正しく分別しましょう！



デジサポ新潟(総務省新潟県テレビ受信者支援センター☎025-285-6226)からのお知らせ

テレビ共同受信施設のデジタル化助成金

現在のアナログテレビは2011年7月24日までで放送が終了します。デジタル化改修に際して、下記の条件を満たせば国の助成金を受けることができます。

対象=①受信障害対策施設(ビル陰等)をデジタル化対応に改修、またはケーブルテレビに切り替える場合(締切2009年12月28日)  
 ②集合住宅のアナログ共同受信施設をデジタル化に改修、またはケーブルテレビに切り替える場合(締切2010年1月15日)

助成金の支給額(1世帯当たり)=改修経費の世帯負担額が3.5万円を超え7万円までは、3.5万円を超えた差額分。

なお、改修内容によっては、助成対象にならない場合があります。

■11月の納期限

- 11月30日(口座振替日11月30日)
- 国民健康保険料(第5期)
- 後期高齢者医療保険料(第8期)
- 介護保険料(第8期)

犯罪被害者等に  
 関する個別相談会

日時=12月4日13時~16時 会場=ハイブ長岡2階会議室 対象=犯罪や交通事故等の被害に遭われたご家族、ご遺族等 相談員=築井一琢弁護士 問合せ=新潟県県民生活課(犯罪被害者等支援総合窓口)☎025-280-5249

地デジ説明会・個別相談会

日時=11月30日 15時~

会場=与板地域勤労青少年センター 体育室

【問】説明会事務局(☎025-288-0535)

NHK放送受信料免除世帯へ支援

生活保護世帯などNHK放送受信料免除世帯へ、簡易チューナーを無償で給付します。

【問】支援実施センター(☎0570-000588)

天地人関連入込者数(10月末現在)

与板歴史民俗資料館	118,810人
まちの駅「よいた」	49,728人
与板城跡(城山)	34,104人
本与板城跡	9,650人
楽山苑	3,329人

※本与板城跡・楽山苑は土・日・祝日のみ集計

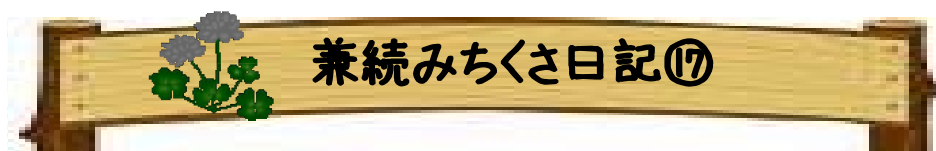
与板地域の世帯数と人口(H21.11.1現在)

世帯数	人口	男	女
2,146世帯(+1)	7,047人(-6)	3,441人(-5)	3,606人(-1)

※( )前月比

くらしのカレンダー (12月)

1	火	米百俵号巡回 (小学校) ぴよんぴよんくらぶ (幼稚園)	16	水	さわやか健康体操教室 (勤労青少年ホーム) 米百俵号巡回 (小学校)
2	水	さわやか健康体操教室 (勤労青少年ホーム)	17	木	足腰お達者教室 (ふれあい交流センター) 12月誕生会 (幼稚園)
3	木	足腰お達者教室 (ふれあい交流センター) 1才6ヶ月健診 (三島保健センター)	18	金	ぴよんぴよんくらぶ (幼稚園)
4	金	ぴよんぴよんくらぶ (幼稚園)	19	土	発表会 (保育園) 離乳食相談 (子育て支援センター)
5	土	心の相談室 (保育園乳児棟) 与板子ども会 (与板体育館)	20	日	年末大清掃 (与板体育館・ふれあい交流センター)
6	日		21	月	
7	月		22	火	あんしん体操教室 (勤労青少年ホーム) 終業式 (幼稚園)
8	火	あんしん体操教室 (勤労青少年ホーム) 米百俵号巡回 (幼稚園) 成道会 (保育園)	23	水	【天皇誕生日】
			24	木	発表会振替休業 (幼稚園)
9	水	さわやか健康体操教室 (勤労青少年ホーム) ぴよんぴよんくらぶ (幼稚園)	25	金	冬季休業 幼稚園 (1月7日まで) 中学校 (1月6日まで)
10	木	行政相談 (与板支所男子厚生室)	26	土	
11	金		27	日	
12	土	幼稚園発表会 保育園発表会	28	月	冬季休業 小学校 (1月5日まで)
13	日		29	火	
14	月		30	水	
15	火	ぴよんぴよんくらぶ (幼稚園)	31	木	



インテリ文化人兼続の巻

兼続は、京都・妙心寺の禅僧・南下玄興(なんかげんこう)、豊臣秀吉や徳川家康の顧問的役割を務めた臨濟宗の僧、西笑承兌(さいしゅうじょうたい)などと親交があり、文化人・蔵書家としても有名でした。

兼続は秀吉の天下時代、京都に滞在していた時に、玄興から『古文真宝後集抄(こぶんしんぽうこうしゅうしょう)』という詩集の注釈書を21冊借り、長時間かけて書き写します。玄興は、兼続の文化人ぶりについて、「自分の利益だけを考えている人たちばかりの世の中で、利害を捨て

て義をつくす人」と評価しています。

さらに兼続は、日本初の銅活字といわれる『文選』(もんぜん)を出版します。文選はもともと中国の詩文集で官吏登用試験、現在の公務員試験を受ける人たちの必読書のような書物で、とても貴重なものでした。また、印刷技術はこの頃、ヨーロッパや朝鮮半島から入ったばかりの超高度技術で、今とは比較にならないほどの費用がかかりました。

関ヶ原の戦い後で石高を削減され、かなり財政的にきつい時、兼続は自腹で巨費を投じて本の印刷、出版に踏み切ります。兼続の学問・文化に対する熱意を感じるエピソードです。